

WBA 京都設立総会の模様

2005年9月にサンフランシスコにおいて開催されたWBS日米欧三極首脳会合にて、世界のベアリング産業の共通の利害問題に対して、関連法規に基づきながら効率的に対処する目的で、WBA（World Bearing Association）設立の提案があり、本年3月及び6月に開催されたタスクフォース会合にて、WBA設立に向けての準備が進められてきました。

本年9月14～15日、日本ベアリング工業会（JBIA）より9名の代表、米国ベアリング製造業者協会（ABMA）より6名の代表、欧州ベアリング製造業者協会連合会（FEBMA）7名の代表の参加を得て、WBA 京都設立総会が開催されました。

総会では、まずWBA定款が全会一致で採択され、WBAが設立されました。

初代WBA会長には、JBIA会長である鈴木NTN社長が就任し、WBA設立総会の議事を主宰し、議事を進行しました。

まず、各地域の経済・市場動向について情報交換を行いました。欧州からは、回復の兆しがみられる欧州経済の状況について、米国よりは好調に推移している米国経済について、それぞれ説明がありました。日本からは、日本、中国、インド、及びNIESとアセアンの状況について、またアジア地域における貿易の拡大について説明を行いました。

続いて、WBAの下での協力活動について検討を行い、次の協力活動を行うことで合意しました。

- （1）WBS統計では、WBSの下で行われてきたデータ交換を引き続き行うとともに、データの質の改善を促進させる。
- （2）偽造品問題では、偽造ベアリングの供給源となっている主な国々で、法的、行政的な対策を推進し、併せて、この分野での広報活動を検討していく。
- （3）環境問題では、環境の保護・保全に関して専門家の間で情報交換を行い、この分野で協力できることを模索する。
- （4）貿易問題では、公正な貿易を推進することに焦点を当てて、この問題を研究していく。

次回WBA総会は、FEBMAがホストとなり、2007年9月21日にミュンヘンで開催することに合意しました。また、WBAの次期会長には、FEBMA会長のジョンストンSKF社長が、また次期副会長としてFEBMA副会長のガイジンガーShaeffler KG社長、ABMA代表のグリフィスTimken社長及びJBIA会長の鈴木NTN社長が選出されました。

最後に、この会議の結果として、添付のプレスリリースが発出されました。